

広島大学地域の元気応援プロジェクト2025
2026/3/19 成果報告会



おしゃべり会でつなぐ 地域ママパパの輪 2nd

広島パパママわ・わ・わ（話・和・輪）

○責任者 村上真理（広島大学大学院医系科学研究科 助産・母性看護開発学研究室）
甲斐詩織・細谷美帆・小原実織・竹之内杏・中野佑衣子・栗本愛菜・水野幸・崎山世来（広島大学助産学生）
高島麻季（My助産院）・田中美佳（れいこ助産院）・藤田佳織・金子直美・藤本紗央里（広島大学助産学教職員）

1. 背景・目的



子育て中の親をエンパワメントし自助力を高め
笑顔で子育てを楽しむ人々を増やし
子どもを産み育てやすい広島の地域づくりに寄与すること

*厚生労働省 (2019) 看護基礎教育検討会報告書. <http://www.zenhokyo.jp/doc/20191016-houkoku.pdf> **厚生労働省 (2025) 令和5年(2023)人口動態統計月報年計(概数) <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai23/dl/kekka.pdf>

2. メンバー

厚生労働大臣の免許を受け、助産又は妊婦、
じよく婦若しくは新生児の保健指導を行うこと
を業とする女子



助産師
Midwife

開業助産師

広島大学医学部
保健学科看護学専攻
助産師教育課程
学生・教員

開業助産師のコミュニティ

- ✓ 地域での子育て支援を実践
- ✓ 広島のお母さん、赤ちゃん、ご家族が笑顔で母乳育児や子育てができる環境づくりをめざす



1992 (平成4) 年 設立

- ✓ 西日本初国立大学学士課程教育
- ✓ 助産学実習で10件の分娩介助
- ✓ 毎年8人前後の助産師を輩出
- ✓ 毎年国家試験合格率100%

3. 活動内容



- 6.25 申請・審査
- 7.8 採択
- 7.24 企画会議 広報活動
- 8.29 #1 おしゃべり会
- 9.30 #2 おしゃべり会
- 10.15 #3 おしゃべり会
- 11.5 #4 おしゃべり会
- 12.6 #5 おしゃべり会
- 1.31 #6 おしゃべり会
- 2~3 振り返り・成果報告





広島ママパパ

わ・わ・わ (話・和・輪)

おしゃべり会

日時

8/29 金

9/30 火

10/15 水

11/ 5 水

家族フォトデータ
記念にプレゼント!

各回
10:30~11:30

参加料:500円

今年度はあと2回開催予定!

場所

きてみんさいラボ

広島市南区松原町2-6
広島JPビルディング2F

申込み

MY助産院 公式LINEのQRコード
InstagramのDM



MY助産院公式LINE



Instagram

妊婦さんも
子育て中の
ママさんパパさんも!



広島ママパパ

わ・わ・わ (話・和・輪)

おしゃべり会

日時

12/6 土

1/31 土

家族フォトデータ
記念にプレゼント!

各回
10:00~11:00
参加料1組500円

場所

きてみんさいラボ

広島市南区松原町2-6 広島JPビルディング2F
※授乳やおむつ替えスペースあります

申込み

募集は8組程度
MY助産院 公式LINEのQRコード
InstagramのDM



MY助産院公式LINE



Instagram

妊婦さんも
子育て中の
ママさんパパさんも!



4. 実践







「お守りお野菜ペースト」を地域に馴染ませる × おしゃべり会でつなぐ地域ママパパの輪2nd

離乳用ケーキ

卒論研究(官能評価)にご協力ください！

日時 11/11 火
11/18 火
両日、10:30～11:00

場所 広島大学
きてみんさいラボ
(広島市南区松原町2-6
広島JPビル2F)

参加料：無料

本品は、東広島産の野菜ペーストを使用した離乳用ケーキです。食物アレルギー表示が必要な特定原材料は使用していません。離乳期の赤ちゃんから大人まで幅広い方々に楽しんでいただけるケーキの開発を目的としています。ご協力をお願いいたします。

評価項目

- ・見た目の好み
- ・食感
- ・甘さ
- ・素材感 など

離乳用ケーキについて

原材料	味の種類
・米粉	・ほうれん草
・はと麦粉	・にんじん
・ベーキングパウダー	・ごぼう
・ひよこ豆の煮汁	・えごま
・砂糖・米油・レモン汁	・ブレン
・野菜ペースト・えごま	

お申込み/お問い合わせ

官能評価の参加に同意いただける方はQRコード、もしくはURLよりお申込みお願いいたします。
<https://x.gd/bsxjs>

【研究実施者】
広島大学教育学部第四期人間生活系コース
松澤まどか (masyak@ucakua@gmail.com)
【研究実施責任者】
広島大学大学院人間社会科学研究所
准教授 富永 美穂子 (mimori@hiroshima-u.ac.jp)
研究実施責任者に知られたい内容の相談窓口として、
広島大学大学院人間社会科学研究所研究倫理審査委員会
(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs/research-ethics/>)
があります。



プロジェクト間コラボレーションも実現!

広島で子育て交流会、助産師を目指す学生も学び

地域

広島

2025/9/3 (最終更新: 2025/9/3)

広島大医学部保健学科の教員たちによる子育て交流会「おしゃべり会でつなぐ地域ママの輪」が8月29日、広島市南区の同大サテライトスペースであった。助産師を目指す学生がスタッフとして参加。母親の悩みを聞いて学びを深めた。

親子8組と助産師たち約20人が集まり、育児情報などを交換。来年から助産師として働く同学科4年の細谷美帆さん（21）も加わり、「地域のつながりが薄い世の中で、子育てするお母さんたちは孤独。顔を見合わせて、誰かと話すのが本当に大切」とうなずいた。

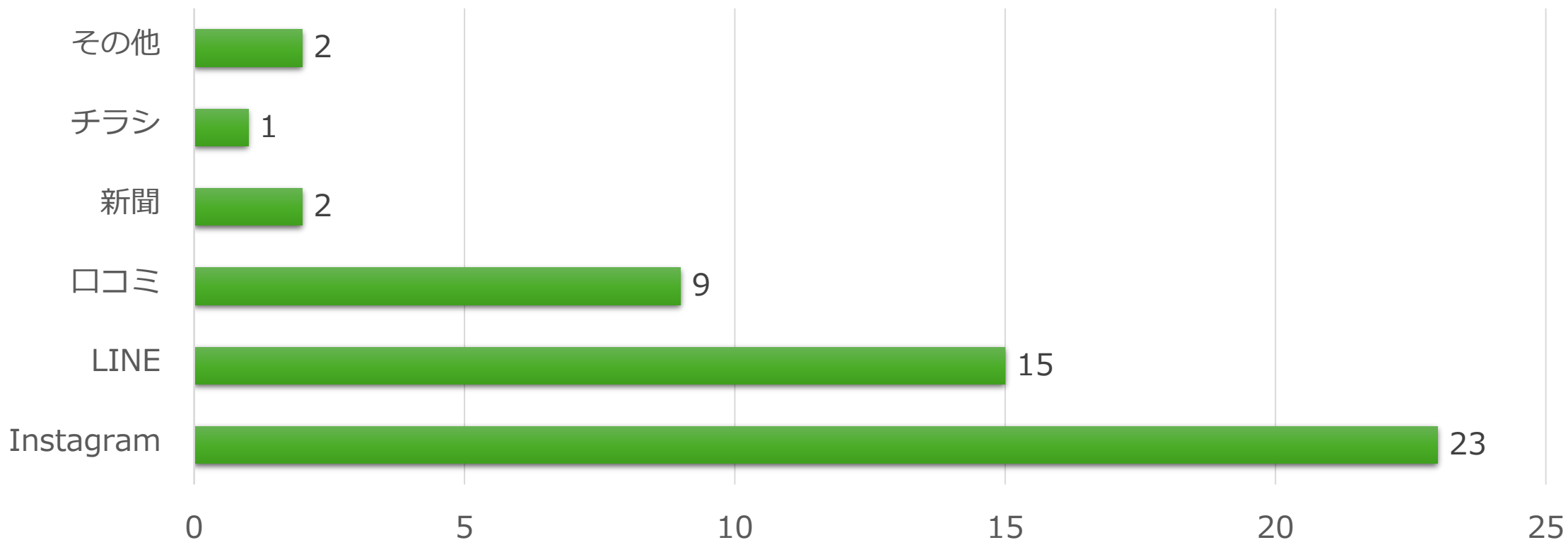
交流会は、同学科助産師教育課程の教員と学生、助産師のグループが昨年度、初めて開いた。村上真理助教（48）は「子育て中の人悩みや喜びを分かち合う場にしつつ、学生は親子の姿に触れる貴重な機会になればいい」と期待する。本年度は9月30日、10月15日など計6回を予定し、学生8人が順次参加する。（西村萌）



子育て中の母親と交流する細谷さん（左端）

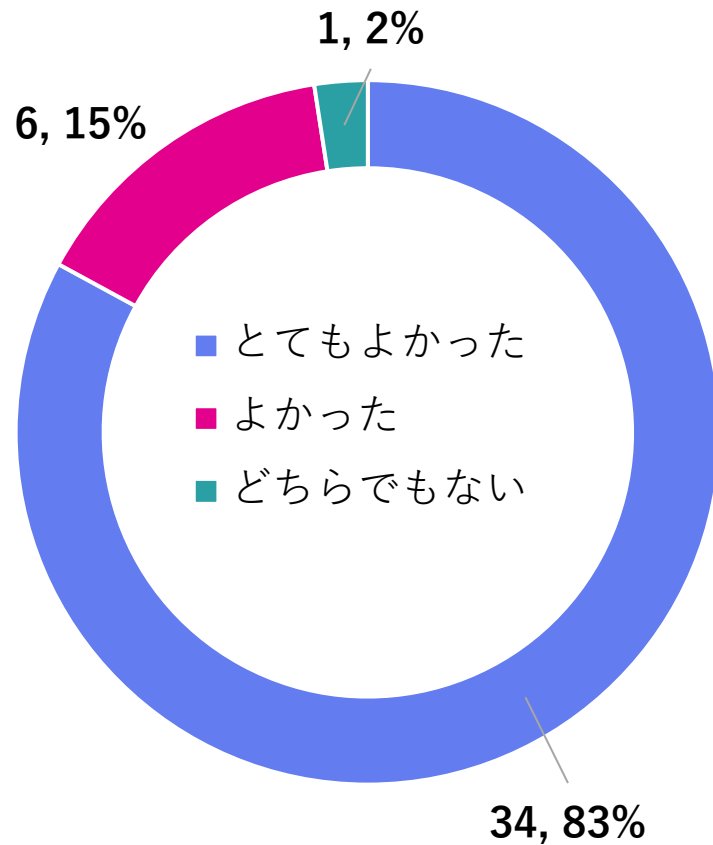
5. 参加者へのアンケート結果

イベントを知った方法（複数回答）



参加者の感想

N = 41

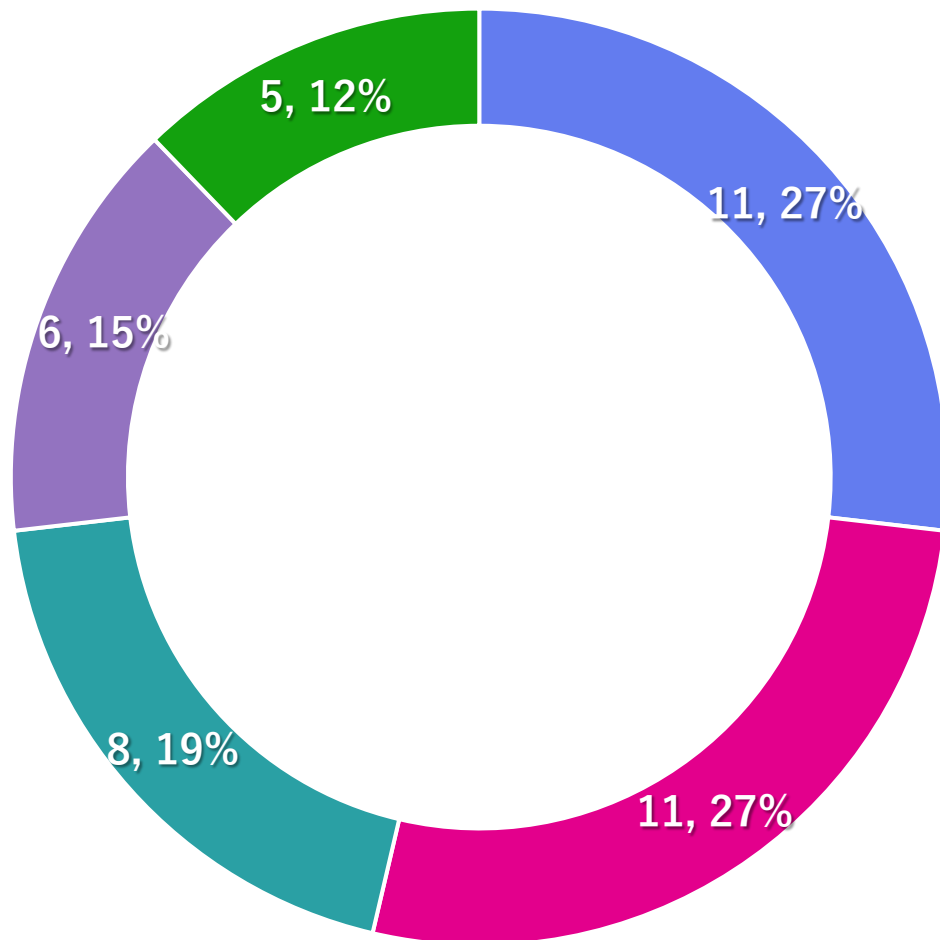


- 他のお母さん助産師さん学生さんと話せて楽しかった。(9)
- 同じ月齢の子がいてママパパと交流できてよかった。(4)
- 色々な月齢の子がいて、刺激にもなりいい時間でした。(3)
- 他のママさんと情報交換できて助かりました。(2)
- あっという間に時間が過ぎ他のママと話したかった(2)
- 他のお子さんとの交流できとても有意義な時間を過ごせた。
- 孤独な育児環境の中でママさんパパさんと話ができ息抜きになった。
- アクセスのいい場所だったので来やすかった。
- ベテラン助産師の方々が色々教えてくださいましたので、500円という価格設定が安すぎる。
- 助産師さんに色々アドバイスをもらいとても勉強になった。
- 不安が少しでも払拭されて良い場になった。
- 助産師や助産学生にも優しく声をかけてもらい嬉しかった。
- スタッフの方が娘を覚えて声をかけてもらって嬉しかった。
- フレッシュな助産学生の方、教育学部生の方が頑張っておられて、自分も新米母としてまた頑張ろうという気持ちになった。
- 写真撮影もいい思い出になった。
- 離乳用ケーキとても美味しかった。ぜひ砂糖なしバージョン商品化を！

- ✓ 年齢が合わなかった。月齢、年齢別があればいいなと思った。
- ✓ 授乳やオムツ変えが心配で参加時間から逆算して調整していたので、インスタグラムの案内に載せていただけると安心して参加できると思った。

参加のきっかけ

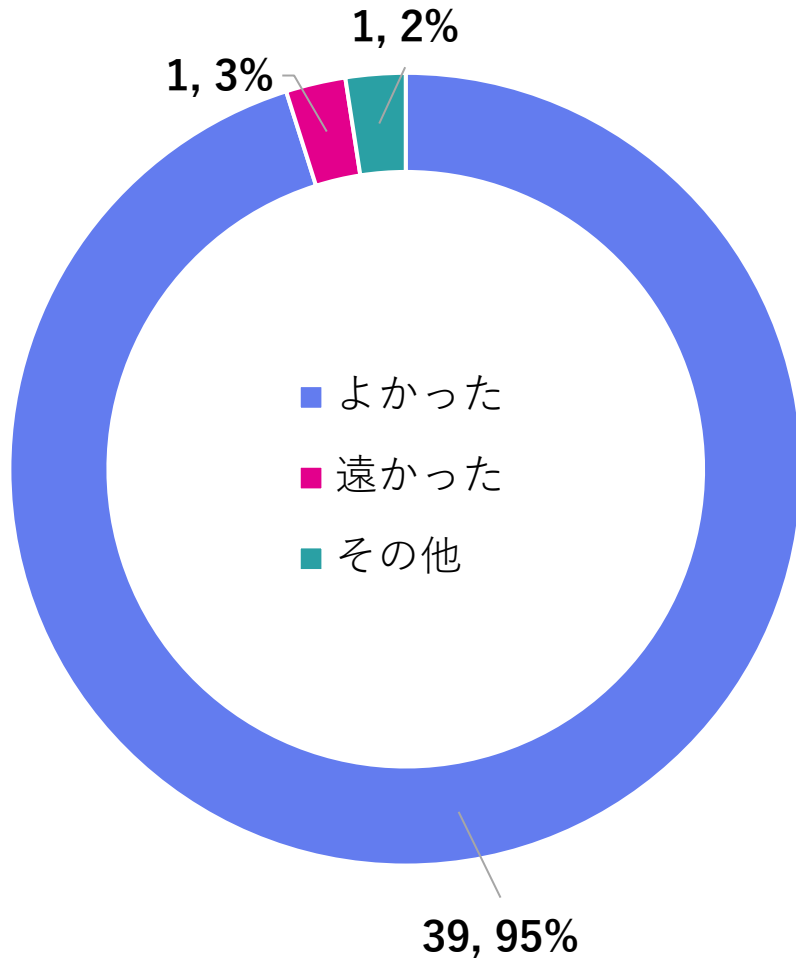
N=41



- 他の親と子育てのことを話したい
- 助産師に相談したい
- 外に出かけたい
- 行きやすい場所
- 写真撮影

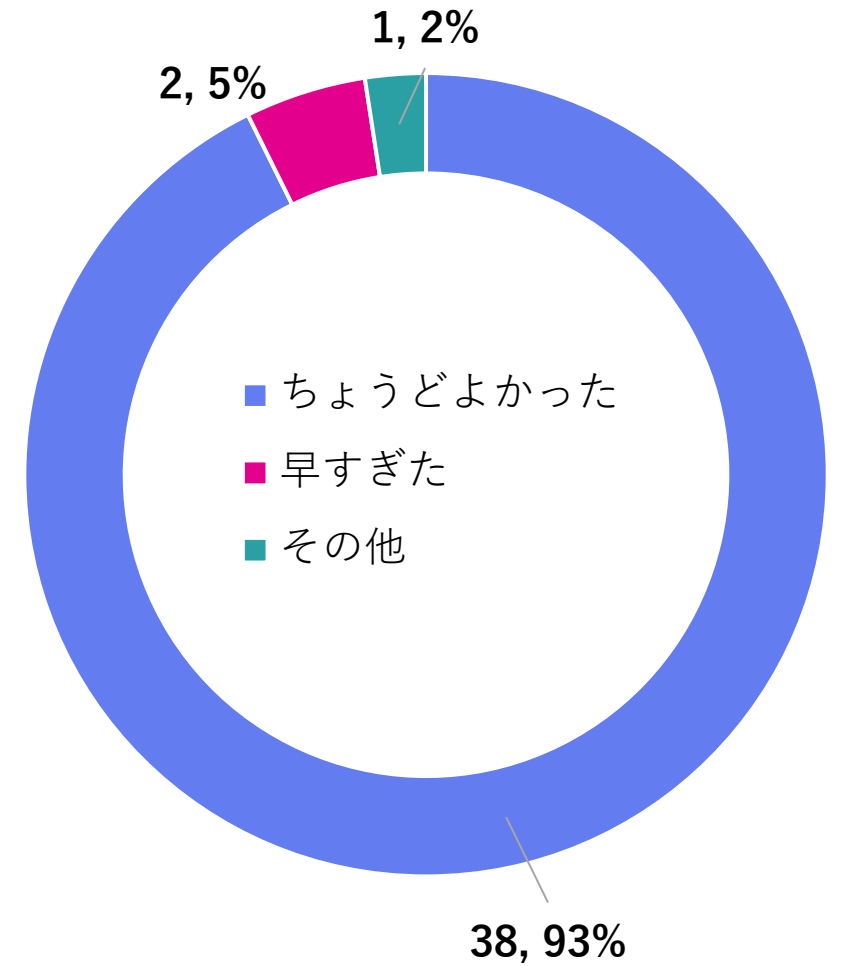
場所

N = 41



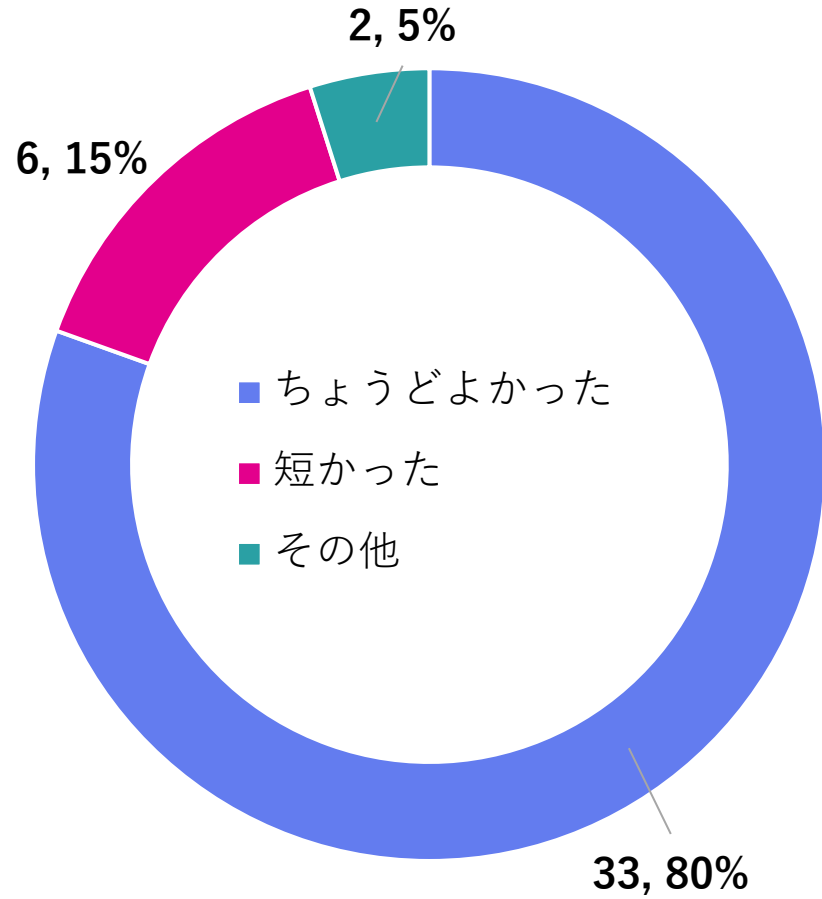
時間帯

N = 41



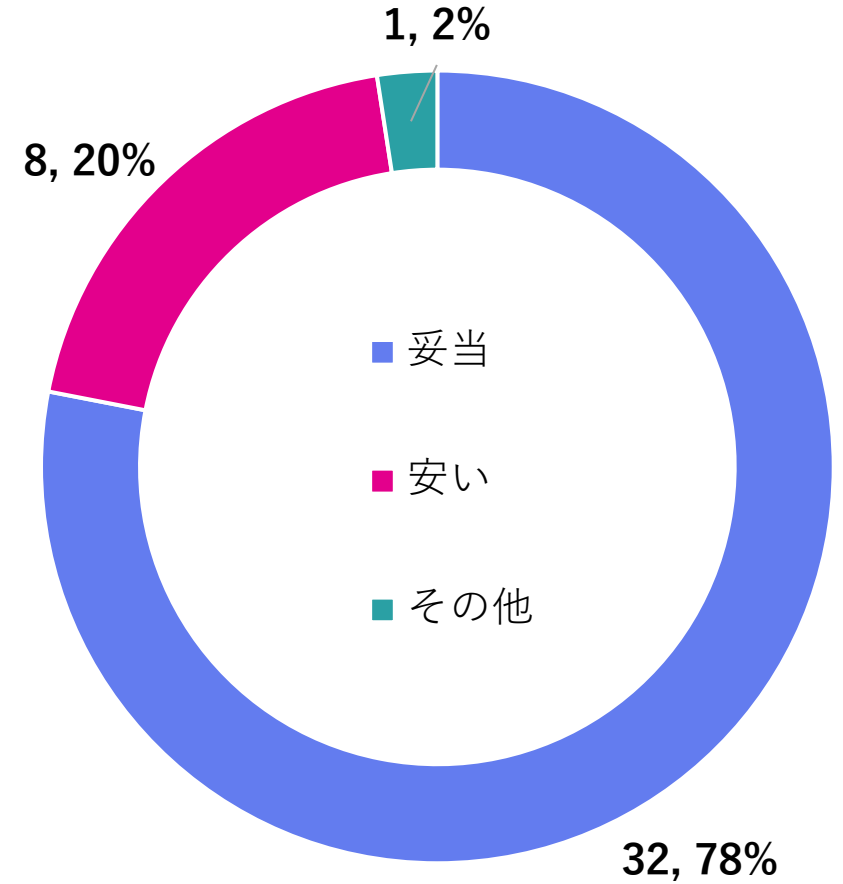
おしゃべり会の時間

N = 41



参加費

N = 41



6. 学生の感想

- Instagramからおしゃべり会を知ってくれている方も多くて嬉しかった。
- 小さい子どもと触れ合うことができ楽しかったし、子育て中の方々の交流の場に携われて貴重な機会だった。
- 実習の間におしゃべり会に参加したことで、病院での姿だけでなくその後の生活が続いていくことを意識できた。
- 日々の生活ではママパパさんとおしゃべりすることや赤ちゃんと触れ合う機会がなかなかないので、学びもあったし、癒され、リフレッシュにもなった。
- 子育て中のお父さんお母さんたちの悩み事やそれに対する他の親御さんとの会話、助産師さんからのアドバイスを聞くことができ勉強になった。また、お子さんたちと触れ合うことで赤ちゃんたちがどんなふうに発達していくのかを知ることができ楽しかった。
- 実習中の癒しで楽しかった。
- ✓ 申し込みの時、参加時期の月齢を記入したほうが、参加者の発達段階が分かりやすい。
- ✓ おしゃべり会の運営に携わることができることを早め（春休み～4月くらい）に知ることができていたら、Instagramの投稿などの学生間の役割分担、おしゃべり会の運営に関する提案などをスムーズにでき、もっと主体的に関わることができるので嬉しい。

教員

- 実際に地域で子育てする親との交流は、学生にとって、教科書や演習、実習だけでは知ることのできない生きた学びとなっていると感じた。
- 子育て中の親子と関わり、親子が笑顔で過ごせる時間に寄り添えることに助産師としての喜びを感じたと同時に、去年は学生としてプロジェクトを立ち上げた卒業生がプロフェッショナルとして成長した姿を見せてくれて、教員としても感慨深い時間となった。
- 第1回のおしゃべり会が中国新聞に取り上げられ、活動を主催する学生にスポットが当てられたことで、広島大学をアピールする広報にも寄与できた。

地域の開業助産師

- 回数を増やしたことでより多くの方に参加いただけた。
- リピーター枠の設定もよかった。
- 土日開催は意外と参加者少ないということがわかった。
- もしかすると、ママは平日のほうが外出したいのかもしれない。
- パパの参加もあり、楽しそうだった。
- 開催場所の立地がよく、いろいろな地域からの参加があった。
- 学生と一緒に開催できたことで、私たち助産師も新しい視点を持つことができよかった。
- 二年間、かけがえのない経験ができた。この経験を今後の活動に活かしたい。

7. 収支報告

収入 (円)		支出 (円)	
プロジェクト 経費	350,000	消耗品費	32,090
		旅費	21,680
		謝金	283,600
		その他	12,630
合計	350,000	合計	350,000

8. 考察

森越美香 (2024). 母親の育児ネットワークに関する国内文献の動向と課題. 国際情報研究, 21(1), 55-63.

Lim, M., Van Hulst, A., Pisanu, S., & Merry, L. (2022). Social isolation, loneliness and health: A descriptive study of the experiences of migrant mothers with young children (0-5 years old) at La Maison Bleue. *Frontiers in Global Women's Health*, 3, Article 823632.

- ✓本プロジェクトは「頼る人がいない」「孤立している」と感じる現代の母親（森越,2024）を焦点化し親のエンパワメントと自助力の向上を目的に親同士の交流を通じ地域の子育て支援に貢献した。
- ✓参加者は「他の子やママと交流でき良い機会になった」と好評で、ニーズに即したおしゃべり会が実現できた。少子高齢化やコロナ禍で孤立する子育て世帯が増加する中（Limら,2022）、親同士の交流の場は非常に重要であると実感された。
- ✓子どもの月齢や母親の年齢が違うことで輪に入りにくかったという意見があった一方で、月齢が違うからこそ刺激や癒しを感じたという前向きな声もあり、個々のニーズに合わせた開催方法の難しさと工夫の必要性が示された。
- ✓外国籍の参加者や妊婦が少ないことから、Instagramのハッシュタグを工夫し、外国語表記や妊婦向けのキーワードで示す必要がある。
- ✓親同士の交流によるピアサポート、専門家の助言による子育て支援、さらに学生たちの若いパワーがバランスよく揃うことで、孤立しがちな育児中の親たちを効果的にエンパワメントでき、こうした場を継続的に提供することが必要だと考えられる。
- ✓父親の参加も多く、母親だけでなく育児中の「親」として、居場所が求められている。
- ✓今後は、この活動を派生させ、様々な地域での開催を行う。

